

令和5年第2回市議会定例会一般質問一覧表

1 日 時 令和5年6月16日(金) 午前9時30分
令和5年6月20日(火) 午前9時30分

2 質問者 (質問順)

- | | | |
|--------------|-----|-------------------------------|
| (1) 新緑水クラブ | 80分 | (1 早川康司、2 中村義幸、3坂本拓也、4 秋葉みどり) |
| (2) 市友会 | 40分 | (5 今瀬和弘、6 工藤政明) |
| (3) 公明党 | 40分 | (7 井上純一、8 蓑手純一) |
| (4) 日本共産党議員団 | 40分 | (9 加藤典子、10 坂 ゆかり) |
| (5) 青空・維新の会 | 20分 | (11 村瀬進治) |

3 質問事項、要旨及び項目

質 問 者	1 早 川 康 司 議 員 (新緑水クラブ)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 アフターコロナを見据えた取組等について	1 全世界に大きな社会的影響をもたらした新型コロナウイルス感染症の位置づけが、2023年5月8日から「5類感染症」へと引き下げられ、高齢者等の重症化リスクの高い方を守ることに重点を置き、ウィズ・アフターコロナの取組が進められている。そこで、今後の本市の取組及び地域の資源や特性を生かした地域活性化策の方向性について問う	(1) 本市として、コロナ禍による影響及び社会変化をどのように捉えているのか。また、実施してきた施策を振り返り、課題をどのように考えているのか (2) コロナ禍による経験及び社会変化への対応が、今後の市民サービスの向上や地域活性化等にどのように活かされていくのか (3) アフターコロナを見据え、市民・団体との連携協力体制の強化や交流促進等により、地域の社会活動の回復に繋がると考えるが、2024年の市制55周年等を契機として、地域活性化に繋げてはどうか	

<p>2 ふるさと納税の現状と今後の展開について</p>	<p>1 2008年度に創設されたふるさと納税制度は、利用者が毎年伸び続けているが、都市部から地方への住民税の流出が進む傾向が続く、自治体の負担増等の欠点も指摘されている。そのような中、対応策として返礼品を工夫し、物品だけでなくサービスの提供等により、寄附した人がその地域に興味を持つきっかけとする等、シティプロモーションや地域活性化に繋げる等の制度活用事例も注目されている。そこで、本市のふるさと納税の現状と今後の展開について問う</p>	<p>(1) 過去3年間において、本市民のふるさと納税に係る寄附金額、人数及び税額控除による市税減収分はどのように推移しているのか (2) 過去3年間において、市外の方からのふるさと納税に係る寄附金額、件数及び寄附金額から必要経費を除いた実質収支はどのように推移しているのか (3) 近隣市町のふるさと納税に係る寄附金額及び件数の直近の状況はどのようなか。また、本市の状況をどのように捉えているのか (4) 本市の魅力や特性を発信し、地域活性化とシティプロモーションの観点から、新たな情報提供の方策や返礼品として市内イベント等への優待等、ソフト事業での特色ある取組を検討してはどうか</p>	
<p>3 水道・下水道事業の経営状況について</p>	<p>1 市民の生活に不可欠な水道・下水道事業では、健全かつ持続可能な経営状況を維持することが求められており、事業の効率化や経営の透明性向上を目的として企業会計方式が採用されている。コロナ禍からの回復が進んでいる一方で、急速な円安や物価上昇に伴い、電気、ガス等の値上げも余儀なくされている。そこで、本市の水道・下水道事業の経営状況について問う</p>	<p>(1) 過去3年間において、水道・下水道事業の経営状況はどのように推移しているのか (2) 物価やエネルギー価格の上昇による影響はどの程度見込まれているのか。また、健全経営のための方策をどのように考えているのか (3) 経営状況が厳しい中で、水道・下水道事業の経費節減等の効率化に向け、どのような取組が行われているのか。また、その効果はどのようなか (4) 現在の経営上の課題をどのように受け止め、今後どのような解決策の検討が行われているのか</p>	

<p>4 持続可能な公共施設の利便性向上について</p>	<p>1 本市においても、多くの公共施設が老朽化により更新時期を迎える一方で、人口減少や少子高齢化に伴う施設の更新や補修等の財政的課題、また、類似施設間での料金格差や予約の取りにくさ等も課題となっている。そこで、本市の持続可能な公共施設サービスと利便性向上策について問う</p>	<p>(1) 公共施設使用料の算定方法はどのようなか。また、類似施設間での料金格差はどの程度あるのか (2) 財政的な制約及び受益者負担の公平性等に関する課題と取組はどのようなか (3) 利用者の利便性向上の為、一部の公共施設において、先行予約やキャッシュレス決済等を導入してはどうか</p>	
<p>5 ゼロカーボンシティ実現への取組について</p>	<p>1 本市は、2022年3月に「ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、現在、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）素案に関するパブリックコメントを実施中である。今後、市民・事業者・行政が一体となって脱炭素社会の実現に向けた取組が進められる中、この脱炭素化の機会を捉え、地域特性を踏まえた積極的な取組及び支援の実施が、これからの地域の持続的発展に重要となる。そこで、本市の2050年温室効果ガス排出実質ゼロを実現するための施策について問う</p>	<p>(1) 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）策定にあたり、本市の温室効果ガスの排出特性及び重点課題はどのようなか (2) 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の目標達成に向けて、市民・市内事業者の脱炭素化への取組を推進するため、今後どのように意識啓発を実施し、取組を促すのか (3) 他の自治体との連携や情報共有はどのように行われるのか。また、他の自治体との連携によって得られた情報をどのように活用していくのか (4) 市民や事業者の環境に配慮したライフスタイル、ビジネススタイルへの転換を促進するため、省エネルギー機器や設備等の導入を支援する施策を考えてはどうか。また、その実施時期についてどのように考えているのか</p>	

質 問 者	2 中 村 義 幸 議 員 (新緑水クラブ)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 人口減少克服に向けた取組について	<p>1 現在の日本における人口減少問題は、国の存続に関わる重要な問題として顕在化しており、人口減少の一因となっている少子化問題について、地方自治体においても様々な対策が行われているものの具体的成果が乏しい状況にある。このような喫緊の課題解決に向けた本市の具体的取組について問う</p>	<p>(1) 過去5年間における本市の出生率の推移はどのようなか。また、今後の出生率をどのように見込んでいるか (2) 少子化問題解消のための本市における出生率向上に関する具体的取組はどのようなか (3) 出生率の向上に結び付く間接的な要因として結婚が挙げられるが、結婚を望む市民に対する結婚応援についての取組はどのようなか (4) 現在実施している取組の成果及び課題はどのようなか。また、課題解決に向けた新たな取組の検討はどのようなか</p>	
	<p>2 令和3年度の転出者数が転入者数を上回っている原因を、コロナ禍における外国転入者数の減少や経済情勢に影響される就業に伴う転入者数の減少と分析しているとのことだが、その後の転出入の状況及び転入を促す取組等について問う</p>	<p>(1) 過去5年間における外国人の転入者数及び転出者数の推移はどのようなか (2) 転入者数減少の一因となっている経済情勢に影響を受けているのはどのような年齢層であるか (3) 本市のこれからの発展には転入人口を増やすことが必要であると考えるが、転入人口を増やす方策をどのように考えているのか</p>	

<p>2 こどもまんなか社会の実現について</p>	<p>1 現在国において「異次元の少子化対策」の具体例として小中学校の給食費無償化や新婚・多子世帯への住宅支援等が議論されているが、令和6年に市制55周年を迎えるにあたり、出産子育てのサポート体制充実のための具体的施策について本市の考えを問う</p>	<p>(1) 子どもに関する窓口は複数の担当課に分かれており、市民にとってわかりにくく手間がかかるため、保護者の負担軽減として、窓口を一元化する考えはどのようなか (2) 「子育てと結婚を応援するまち東海市」の実現に向けて、教育環境の充実が必要不可欠であると考えているが、小中学校の給食費無償化に対する考えはどのようなか (3) 出産子育てのサポートの一環として、市役所等の既存の公共施設に市民が気軽に利用できる、子どもの一時預かり施設を整備する考えはどのようなか (4) 新たな子育て世代を呼び込むため、千葉県流山市で実施されている「駅前送迎保育ステーション」のような施設を整備し、育児を支援する考えはどのようなか</p>	
	<p>2 安心安全な教育環境の整備のため、今後地域への移行が検討されている中学校の部活動に代わる、子どもの活動環境整備の考えについて問う</p>	<p>(1) 中学校部活動地域移行に向けて部活動コーディネーターを配置し、(仮称)中学校部活動の地域移行推進会議を設置するとあるが、進捗状況はどのようなか (2) 地域移行を検討するにあたり、部活動指導者バンクを創設し、中学校の部活動に指導者を派遣する考えはどのようなか</p>	

<p>3 公共工事の入札について</p>	<p>1 県は、令和5年4月から土木工事の工期算定にあたり週休2日を前提に行うこととなったが、市が同様の手法で工期の算定を行う場合、工期が長くなり、経費が増大する等の影響が想定される。また、災害時等に緊急で対応を要する場合には、地元業者の存在は大変重要となると考えるが、本市に本社を置く工事業者は年々減少している状況にあり、地元業者の育成も含め、受注機会の確保という観点から、入札基準の見直し等について問う</p>	<p>(1) 週休2日制工事が進められる中で、適正な工期設定について、どのように考えているか (2) 契約後の価格変更について、いわゆるスライド条項を設ける物価スライド方式について、小規模な地元業者でも円滑に適用が図れるよう、市としてどのような工夫をしているか (3) 中部地区は全国で最も低い平準化率となっているが、本市の平準化への状況と課題をどのように考えているか (4) 大型建築工事において、共同企業体（JV）の方式を積極的に採用する等、地元企業育成を進める考えはあるか。 (5) 指名競争入札において、企業規模の異なる業者を競合させることによる弊害をどのように捉えているか。また、地元業者の受注機会の確保のため、指名競争入札の指名業者数は、ランク別業者数を考慮の上、少なくする考えはあるか</p>	
----------------------	---	---	--

<p>4 シティプロモーションについて</p>	<p>1 シティプロモーションとは、地方自治体によって行われる、地域のイメージ向上の取組であるが、目的をどのように位置付けるかにより、働きかけるターゲット層及びプロモーション内容が変わるため、戦略を持ったシティプロモーションを展開することが重要である。消費者心理を考察する理論として、A I D M Aの法則が知られているが、その法則に沿った戦略を構築することで目的、手段そして成果が有効に結びつくと考えるが、本市におけるシティプロモーションの取組について問う</p>	<p>(1) A I D M Aの法則の一つとして、まず始めに認知というプロセスが挙げられており、具体的な手法としてCM、広告、看板等があるが、本市を市内外の方々に認知してもらうための手法をどのように考えているか</p> <p>(2) 本市において流入人口を増やす為に若い世代に本市の住みやすさをアピールする必要があると思うがどのような戦略を考えているか</p>	
-------------------------	--	---	--

質 問 者	3 坂 本 拓 也 議 員 (新緑水クラブ)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 子どもの成長を育むことについて	1 子どもは、将来を担う社会の一員として、大いなる可能性を秘めたかけがえのない存在である。児童の権利に関する条約では、子どもに対するあらゆる差別の禁止、子どもの最善の利益の確保、生命・生存・発達への権利及び子どもの意見の尊重を一般原則としている。本市においても、その理念のもと、全ての子どもたちが誰一人取り残されることなく、将来への希望を持って、伸び伸びと健やかに育っていく環境を整備していくことは本市の大切な使命であると考えている。そこで、子どもの健やかな成長に寄与することを目的として、子どもの笑顔があふれる社会の実現に向けた基本理念及び本市が取り組むべき施策の基本事項を定めた条例制定の考え等について問う	(1) 近隣市町における子どもの権利条例等の子どもに関する条例の制定状況はどのようなか (2) 本市においても、子どもたちの健やかな成長に寄与するため、子どもの権利条例の制定が必要と考えるがどうか	

	<p>2 学校におけるいじめ等の問題について、子どもの特性にどう対応したらよいか悩む教員も少なくなく、子どもたちが抱えている悩みを、どこの誰に相談したらよいか、初期の段階で躓くケースも稀ではない。少子化にも関わらず令和4年の自殺した児童生徒数は全国で512人となり、昭和55年以降過去最多となった。いじめ相談等のSOS相談窓口を通じて、困難に直面した子どもたちを救えるかが非常に重要と考えるが、本市の考え等について問う</p>	<p>(1) 直近5年間の本市における、いじめの発生件数及び通報者数はどのような (2) 平成28年に制定した「子どものいじめ防止条例」について、現在の取組状況はどのような (3) 児童生徒本人からのいじめ相談等を受ける相談窓口の選択肢を増やす手段として、児童生徒が身近に使用しているタブレット端末内で「東海市SOS相談窓口」を設置し、運用することは効果的であると考えがどうか</p>	
	<p>3 本市においては令和3年度より1人1台のタブレット端末が導入されたことに伴い、専門的な知識や技術を持つICT支援員が6人配置されているが、今後、より一層、新しい技術や学習ツールに対応できるよう、また、学校における働き方改革をさらに進めるうえでも、ICT支援員の増員は教育現場の質の向上に繋がり、非常に効果的であると考え。そこで、今後のICT支援員増員について本市の考え等を問う</p>	<p>(1) ICT支援員配置の効果について、現場の教員の声をどのように把握しているか。また、ICT支援員が不在時に支援が急遽必要になった場合の対応はどのような (2) 高い専門性をもって今まで以上に一人一人の児童生徒に関わりながら、質の高い授業や学習指導を実現させるためにも、各小中学校に1人のICT支援員を配置することは、教員の働き方改革を進めるうえでも必要と考えるがどうか</p>	

	<p>4 本市において市制45周年記念事業として実施された子ども議会は、子どもたちの市民意識の向上、政治教育の促進、子どもたちの声を届ける場の提供という、社会参加の基盤を作ることを通じて、子どもの意見を表明する権利を具現化する意味において、大変効果的であると考えます。また、子どもたちの意識を向上させ、市政に興味を持ってもらい、公共の場での話し方や意見を述べる力を身に付けさせることは、地域の未来を担う子どもたちの育成に繋がるものであると考えます。市制55周年に向けての子ども議会の開催について、本市の考え等を問う</p>	<p>(1) 本市で市制45周年記念事業として実施した子ども議会は、大変有意義な事業と受け止めているが、子どもたちの反応及び成果をどのように評価しているか。また、近隣市における子ども議会の実施状況はどのようなものであるか</p> <p>(2) 市制55周年記念事業として、子ども議会を開催することは、子どもたちが公共の場での話し方や意見を述べる力を身に付け、成人後、責任ある市民として権利や義務を正しく理解し、社会参加するための機会として、大変有意義であると考えますがどうか</p>	
--	---	---	--

<p>2 働き盛りの世代に寄りそうことについて</p>	<p>1 令和4年の全国の自殺者数は21,881人で、前年に比べ874人増えている。各世代での問題は様々だが、働き盛りであり責任世代である40代、50代の自殺者の割合が増加していることは、プライベートの悩みも含めて相談できる場所がないことが大きな原因の一つであり、見過ごされているのが現状と考える。大きなストレスを抱えがちなミドル世代の、メンタルヘルスの不調や自殺を防ぐためには、深刻な事態になる前に相談できる心の健康相談窓口の開設が必要と考えるが、本市の考え等を問う</p>	<p>(1) 直近5年間の本市における、40代、50代の自殺者数の推移について、どのように把握しているか (2) 自殺を防止するため、心の健康相談窓口の開設が必要と考えるがどうか</p>	
-----------------------------	--	--	--

<p>3 暮らしを守ることに ついて</p>	<p>1 令和5年に入り、本市において減少傾向にあった侵入盗や特殊詐欺等の犯罪被害が増加に転じていると聞く。また、全国的に犯罪集団による強盗被害が頻発する等、凶悪化が進んでいる。そのような中、犯罪の抑止及び犯人の検挙に繋がる証拠確保手段として、防犯カメラの設置は非常に有効であり、設置費用の補助は、市民の防犯対策を支援し、地域の防犯効果を高めることに繋がると考える。そこで防犯カメラ設置費用の補助について本市の考え等を問う</p>	<p>(1) 本市では令和5年度より、県の補助金を活用して防犯用具購入費補助事業を開始しているが、防犯対策に大変有効である防犯カメラ設置について、本市の現状認識はどのようなか (2) 現状においても、センサーライト等にカメラ機能が付属する商品は、防犯用具補助事業の対象品目であるが、市民各々が取り組む有効な防犯対策として、自宅敷地等に設置する防犯カメラについても、新たに防犯用具補助事業の対象品目に加え、地域全体のさらなる犯罪抑止力強化に繋げるべきと考えるがどうか</p>	
	<p>2 デジタル活用に不安のある高齢者のサポートとして、令和4年度からスマートフォン講習会を実施しているが、参加者から講習会実施会場でインターネットに繋がらないとの意見が寄せられている。高齢者がいつまでも元気に暮らし続けるための支援事業であるスマートフォン講習会は大変有意義な事業であるため、講習会実施会場におけるWi-Fi環境の整備は必要不可欠であると考え、市内公共施設におけるWi-Fi環境整備の考え等を問う</p>	<p>(1) 本市の芸術劇場をはじめとする、市内公共施設におけるWi-Fi環境の整備計画の考えはどのようなか (2) スマートフォン講習会が実施されている各地域の公民館及び市民館において、参加者がストレスを感じないように、Wi-Fi環境を必要に応じて整備する必要があると考える。講習会等を開催する際は、管理がしやすく利用者の特定も可能なモバイルWi-Fi等の整備を早期に進めていくべきと考えるがどうか</p>	

質 問 者	4 秋 葉 みどり 議 員 (新緑水クラブ)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 学校の制服や安全帽子の選択の自由について	<p>1 令和6年4月から中学生が着用できる新制服のデザインが、児童や生徒たちの総選挙を経て決定し発表された。中学生たちが自分らしく着用し気持ちよく学校生活を送ることが出来るよう、制服の選択の方法について問う</p> <p>2 本市の小学生が被る黄色い安全帽子は、入学時に市から無償配付となっている。男女で仕様が異なって配付されており、一目で性別が区別できることは、防犯の面から不安にも感じている。安全帽子のデザインや選択について、本市の考えを問う</p>	<p>(1) キュロットも選べるようになってきているとのことだが、総選挙時にも発表時にも展示されていないのはなぜか</p> <p>(2) ブレザーの前合わせが二種類あるが、どちらも自由に選択することはできるのか</p> <p>(3) インナー等その他の運用については各学校で決定するとのことだが、どのような議論を経ていつまでに決定し、発表する予定か</p> <p>(4) 新制服や制服の選択について、令和6年度新入学となる児童や保護者に対していつ頃どのような説明を行っていくのか</p> <p>(1) 男女別の安全帽子は、どの様な経緯を経て決定され、入学時に配付されてきたのか</p> <p>(2) 中学校の新制服のように性別に関係なく、子どもたちが自分らしく好きなデザインの安全帽子を選ぶことが出来るようにすべきと考えるがどうか</p>	
2 パートナーシップ宣誓制度の導入について	1 令和5年4月より本市において、パートナーシップ宣誓制度が導入された。制度を導入したことを広く市民に認知してもらい、また職員に向けての研修を行っていくことは大事な取組であると考え。宣誓制度導入に対しての啓発や職員研修の取組及び今後の展開について問う	<p>(1) 制度導入後、市民からの声や問い合わせ等があったか</p> <p>(2) 制度導入に向けて、職員にどのような研修を行ってきたか</p> <p>(3) 制度についてこれまで、どのように周知を行ってきたか。また、今後市民に向けてどのように啓発をしていくか</p> <p>(4) 今後、ファミリーシップ宣誓制度の導入も検討していくべきと考えるがどうか</p>	

<p>3 児童館のあり方や運営について</p>	<p>1 児童館は子どもたちが安心して自由に遊べる場であり、近年では地域の子育て中の親子の支援の拠点ともなっている。「絵本で親子ふれあい応援事業」が広がったことにより未就学児を連れた保護者の来館も増え、児童館の認知度は高くなっているが、駐車場や開館時間について利用者や地域から不満の声も聞こえてきている。また、配慮を必要とする子どもも増える中で、児童厚生員には様々な場面に対する的確な対応力が求められている。</p> <p>子育て支援の拠点として今後ますます重要となってくる児童館のあり方や運営について問う</p>	<p>(1) 以前と比べ、利用者の年齢構成にどのような変化があるか (2) 「絵本で親子ふれあい応援事業」によって、初めて児童館を利用した人数はどのようなか。また、事業を行う中でどのような要望や意見等があるか (3) キッズルームがない児童館については、どのように対応しているか (4) 駐車場がない児童館はあるのか。また、乳幼児を連れた利用者のために、今後駐車場の拡充に向けて対策を取るべきと考えるがどうか (5) 配慮を必要とする子どもたちも多い中、児童厚生員が受ける研修にはどのようなものがあるか (6) 開館時間と児童厚生員の就業時間が同一であるため清掃や片付け等に時間が取られ、実際は施設利用時間が制限されている現状をどう捉えているか。また、開館時間等を見直すことも必要と考えるがどうか</p>	
-------------------------	---	---	--

<p>4 投票率を上げるための取組について</p>	<p>1 全国的に見ても投票率の低下による政治離れが危惧されており、本市においてもその傾向は同様である。これまでと同じ体制では投票率の上昇は見込めず、低いままであることが予測される。そんな中、近隣市では移動期日前投票所を設置する動きがあった。そこで、今後の選挙に向けて、市民が投票所に足を運びやすい環境づくりのための新たな取組について問う</p>	<p>(1) ポスター掲示場の設置場所はどのように決められているか。また、どのような時に変更となるか (2) 交通弱者の方への利便性向上や投票機会の確保のために、本市においても移動期日前投票所を設置すべきと考えるがどうか (3) 宅地開発や新道路の開通等の周辺環境の変化によって、市民からは投票区の見直しを求める声も聞こえることをどう捉えているか (4) 市内のどの投票区の方でも投票ができる「共通投票所」をすべての投票所とした自治体があり、話題性もあり成果を上げている。本市においても導入を検討すべきと考えるがどうか</p>	
<p>5 あすなろ学園跡地利用の方向性について</p>	<p>1 あすなろ学園は、平成29年7月に現在の場所に移転され、跡地はそのまま残されており、雑草が生い茂っている。加木屋南公園に隣接しており、公園の充実に活用を期待する地域住民の声も多い。そこで、あすなろ学園跡地の方向性について本市の考えを問う</p>	<p>(1) 跡地が6年の間未利用地となっているのはなぜか (2) 有効な土地活用を検討していく必要があると考える。そこで、跡地利用の方向性について、今後地域住民とともに考え合う場を持って進めるべきと考えるがどうか</p>	

質 問 者	5 今 瀬 和 弘 議 員 (市友会)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 「休み方改革」プロジェクトの導入について	1 県が推進する、県民全体のワーク・ライフ・バランスの充実と生産性向上による経済の活性化の実現を目指す、「休み方改革」プロジェクトに対する本市の考えについて問う	(1) 「休み方改革」プロジェクトの一環である「県民の日学校ホリデー」及び「ラーケーションの日」について、本市の考えはどのようなか。また、導入に対する課題はどのようなか (2) 近隣市町の状況について把握しているか。また、導入に向けた意見交換会等は行っているか	
2 小中学生の体力等向上のための取組について	1 近年、生活様式の変化等により、小中学生の運動意欲の低減や体力・運動能力の低下が問題となってきた。そこで、小中学生の体力・運動能力を向上させるための本市の取組について問う	(1) 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の内容はどのようなか。また、令和4年度の本市の結果をどのように分析しているか (2) 体育の授業において児童生徒の運動意欲や体力・運動能力を高めるために、どのような取組がなされているか (3) 体育の授業以外において児童生徒の運動意欲や体力・運動能力を高めるために、どのような取組がなされているか	
3 GIGAスクール構想の現状について	1 小中学校の児童生徒に1人1台のタブレット端末が貸与され活用が進む中、本市におけるGIGAスクール構想の現状と今後の取組について問う	(1) 学校の授業においてタブレット端末をどのように活用しているか。また、使用頻度はどのようなか (2) 学校の教室以外では、どのようにタブレット端末を活用しているか (3) インターネット検索や写真撮影といったタブレット端末の機能等を、どのように活用しているのか (4) 令和6年度から一部の教科で先行導入の方針が固められたデジタル教科書について、導入の効果と課題をどのように考えているか (5) タブレット端末の活用における課題と今後の取組についてどのように考えているか	

<p>4 地域防災リーダー養成講座の取組について</p>	<p>1 市民一人ひとりが防災意識を持って、それぞれの地域において自主防災活動に積極的に取り組んでいく防災リーダーを育成するための養成講座について問う</p>	<p>(1) 開催日程と開催案内及び申し込み方法はどのようなか (2) 過去3年間の受講者数及び修了者数はどのようなか (3) 講座内容はどのようなか。また、修了者にはどのような役割を期待しているか (4) 本養成講座の成果と課題をどのように考えているか</p>	
------------------------------	---	--	--

質 問 者	6 工 藤 政 明 議 員 (市友会)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 地球温暖化を防止する取組について	1 次世代自動車と呼ばれている環境性能に優れた自動車の普及を加速させる誘因策として打ち出された次世代自動車購入促進補助事業について、本市の状況と考えを問う	(1) 補助事業の効果をどのように考えているのか (2) 補助率及び上限額の設定根拠はどのようなものなのか (3) 補助事業の対象に中小企業等の事業者を含めない理由はどのようなものなのか (4) 県内市町村をはじめとする他自治体における同様の補助事業の実施状況をどのように把握しているのか (5) 世界的な半導体部品不足等の影響により、自動車の新規登録に月日を要する状況にあるが、期間内の申請に間に合わない場合の対応策をどのように考えているのか (6) 事業目的の達成に向けて、複数年で補助事業を実施する必要性をどのように考えているのか	
2 交通事故を未然に防止する取組について	1 夜の時間帯に信号の現示方法が赤色と黄色の点滅に切り替わる夜間点滅信号について、本市の状況と考えを問う	(1) 本市内にはどの程度導入されているのか (2) 導入されている場所及び理由並びに点滅信号になる時間帯をどのように把握しているのか (3) 令和2年以降の夜間点滅信号が導入された交差点で発生した交通事故はどのような状況なのか (4) 交通事故防止策の一つとして、夜間点滅信号を廃止する自治体等もあると聞くが、通常的信号現示方法に戻す必要性をどのように考えているのか	

	<p>2 令和5年7月1日から改正道路交通法の一部施行により、一定の条件を満たす電動キックボードは特定小型原動機付自転車として、運転免許証不要等の新しい交通ルールが適用されることとなる電動キックボードについて、本市の状況と考えを問う</p>	<p>(1) 改正道路交通法一部施行について、市民への周知や啓発はどのように行われているのか (2) 自治体が担うこととなるナンバープレートと呼ばれる標識の発行の準備は、どのように進められているのか。また、本市独自の図案や模様を採用する考えはあるのか (3) 省エネルギーや機動性に優れた特徴を生かして、シェアリングサービスの参入活発化が予想されるが、どのように考えているのか。また、参入活発化に際しての安全な利用の周知や啓発の方法をどのように考えているのか</p>	
<p>3 まちの環境美化を推進する取組について</p>	<p>1 毎年6月の1か月間を環境月間と定めるとともに第1日曜日を市内一斉清掃日として、市民のごみに対する意識及びモラルの向上を図りながら、コミュニティ等をお願いしている地域の環境美化活動について、本市の状況と考えを問う</p>	<p>(1) 市内一斉清掃の広報及びコミュニティ等への参加の呼び掛けはどのように行われたのか。また、より多くの参加賛同に向けてどのような取組をしているのか (2) 直近の市内一斉清掃に参加したコミュニティ等の団体及び参加者の総数並びにごみの回収量はどのような状況なのか (3) 道端等に捨てられたごみの状況を踏まえた地域のごみ散乱防止や環境美化の取組の必要性をどのように考えているのか</p>	
<p>4 自治体DXを推進する取組について</p>	<p>1 国は自治体DX全体手順書の中で、自治体がDXを推進するに当たって想定される重点的に取り組むべき事項や内容を区分・整理して4つのステップで定めていることについて、本市の状況と考えを問う</p>	<p>(1) 現時点の本市は、どこのステップに位置づけられると考えているのか (2) ステップを上位へ移行させる等DXを推進するための課題や問題点及び解決策は整理されているのか (3) ステップの最上位である「DXの取組みの実行」に到達する時期をどのように考えているのか</p>	

	<p>2 自治体DX推進体制の構築におけるデジタル人材の確保・育成として国が進める外部人材確保支援について、本市の状況と考えを問う</p>	<p>(1) 外部人材確保の狙いや利点をどのように把握しているのか。また、国が定めた外部人材スキル標準をどのように把握しているのか</p> <p>(2) 国から外部人材の情報提供はどのように行われているのか</p> <p>(3) 本市で国の支援策を生かす必要性をどのように考えているのか</p>	
--	---	---	--

質 問 者	7 井 上 純 一 議 員 (公明党)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 妊産婦への伴走型相談支援の在り方について	1 出産は、胎児と母親相互のオキシトシンの分泌による生理現象であると言われている。オキシトシンの分泌を促し、母子ともにしあわせな出産のための情緒的サポートとして、①夫・家族の関係が良好であること、②若い母親が年上の女性のサポートを受けること、③人や環境が子どもに優しい社会であることの3点が指摘されている。情緒的サポートの重要性を踏まえた本市の伴走型相談支援の取組について問う	(1) 妊産婦への伴走型相談支援として具体的にどのような支援を考えているのか (2) 伴走型相談支援の面談や両親学級等で妊産婦とパートナーに、オキシトシンの分泌を促す情緒的サポートの重要性をどのように伝えているのか (3) 身近な地域で助産師や妊産婦同士が継続的につながることができる場所を提供すべきと考えるがどうか	
2 不登校対策について	1 本市の令和4年度の不登校児童生徒数は、345人と過去最多となった。その対策として令和5年度はスクールソーシャルワーカーを2人から3人に増員したが、学校現場からは、相談したい児童生徒が多すぎるため、更なる増員と常勤での配置を求める声がある。現場の声を踏まえた本市の今後の取組について問う	(1) 現在、スクールソーシャルワーカーは1人で何人の児童生徒を担当しているのか。また、学校や福祉分野との連携はどのようなか (2) 国が目指している中学校区に1人のスクールソーシャルワーカーの配置に向けて、どのように取り組むのか (3) 常勤のスクールソーシャルワーカーを配置すべきと考えるがどうか	

	<p>2 不登校児童生徒は、長期化すると高校進学後も不登校傾向が続く可能性がある。卒業後も途切れることなく組織的支援を続けるためには、文部科学省が推奨する「児童生徒理解・支援シート」を活用した、中学校から高校等の進学先への適切な引継ぎが有効であると考え、本市の取組状況について問う</p>	<p>(1) 本市の「児童生徒理解・支援シート」の活用状況はどのようなか (2) 中学校を卒業する不登校生徒への継続的な支援の取組はどのようなか</p>	
<p>3 都市公園の整備について</p>	<p>1 令和4年度の市政提案箱では公園に関する要望が最も多かった。市民満足度を上げるためにも公園・緑地整備に更に力を入れるべきと考え、要望を踏まえた今後の整備計画について問う。また、最近本市でも愛犬家が増え、公園にドッグランを整備してほしいという声を聞くことが多くあるが、本市のドッグラン整備に関する考えを問う</p>	<p>(1) 公園の維持管理、設備に関して市政提案箱に寄せられた要望の主なものは何か。また、その要望に対してどのように対応するのか (2) 公園のドッグランの整備に関してどのように考えているのか</p>	

質 問 者	8 蓑手純一議員 (公明党)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 平洲記念館・郷土資料館について	1 郷土資料館収蔵庫は昭和44年に建設された学校給食センターを再利用して、寄附資料や発掘調査での出土品等を収蔵、保管している。収蔵庫の老朽化により、保存状態が適正な状況ではない期間が長く続いている。そのため改修工事を早期に進め、平洲記念館・郷土資料館再整備基本計画に則り、適正に統合・移転・集約化するために今後の事業推進等について問う	(1) 収蔵品は市の歴史を知る上でも大変重要な物ばかりであるが、郷土資料館収蔵庫の現在の保存状態についてどのように認識しているか (2) 郷土資料館収蔵庫は昭和44年に建設された学校給食センターを再利用したもので、平成2年に改修をしてから今日まで30年以上改修されなかった理由はどのようなか (3) 郷土資料館収蔵庫の改修費用が令和5年度予算では3,000万円程度計上されているが、今後検討されている新郷土資料館に収蔵品を移転、集約化した場合、現郷土資料館収蔵庫はどのように活用されるのか。また、今後現収蔵庫を使用しないのであれば改修せず、民間の大型倉庫に一時保管することは検討したのか (4) 郷土資料館収蔵庫では多くの資料を収蔵していると聞いているが、市民の目に触れるような活用はされているのか (5) 将来的に郷土資料館収蔵庫の資料をさらに活用していくための課題はどのようなか	
	2 平洲記念館と郷土資料館は昭和49年の開館以来、常設展示のリニューアルをしてこなかった。そのため来館者の目を惹く工夫が足りないように思われる。開館50周年に向けての再整備についてどのように周知していくか考えを問う	(1) 細井平洲先生の名を冠した記念館として、常に飽きさせない展示や分かりやすさ、見やすさに配慮すべきと考えるが、開館以来、常設展示のリニューアルがされてこなかった理由はどのようなか (2) 展示のリニューアルの必要性や効果をどのように考えているか (3) 平洲記念館・郷土資料館再整備基本計画において集客やシティブロモーションについてどのように考えているか (4) 開館50周年を迎える令和6年度に向けた記念事業の計画はどのようなか	

<p>2 子どもの幸せを最優先する社会について</p>	<p>1 幼児教育・保育料の無償化は、子育て世帯の負担軽減や労働者支援、早期教育の重要性等、様々な観点から必要性があると考え。コロナ禍の影響が完全にはなくなっていない中、物価高騰で出費が増えている子育て世帯を支援するため、0歳～2歳児の第2子の保育料について所得制限を設けずに無償化する考えを問う</p>	<p>(1) 本市において保育料が半額の対象になっている第2子は何人いるか (2) 第2子の保育料を無償化するに当たっての課題はどのようなか</p>	
	<p>2 医療的ケア児の災害時の備えとして、施設や家庭での非常用電源装置は、停電や災害時に大変重要である。停電が長時間続いた場合、人工呼吸器が止まり生命に危険が及ぶ可能性がある。また発電機がある避難所にすぐ移動できない可能性もある。しかし、人工呼吸器バッテリーや自家発電機は高額で、手動式で行う人工呼吸器には限界がある。そのため非常用電源装置の購入補助等に対する市の考えを問う</p>	<p>(1) 市内に医療的ケア児は何人いるか (2) 医療的ケア児に対する非常用電源装置の購入補助等に関してどのように考えているか</p>	

<p>3 難聴高齢者の支援について</p>	<p>1 高齢者が補聴器を購入する際、高価なため購入費負担が大きく補聴器を購入出来ない高齢者が、人とのコミュニケーションを避け孤立し、こもりがちになることから認知症が進むことも懸念されている。このことから身体障がい者手帳交付または他の補聴器助成を受けていない難聴高齢者への助成についての考えを問う</p>	<p>(1) 本市の難聴高齢者への支援の状況はどのようなか (2) 難聴高齢者への補聴器購入費の助成について近隣市の状況はどのようなか。また本市の考えはどのようなか</p>	
-----------------------	--	---	--

質 問 者	9 加藤典子議員（日本共産党議員団）		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 市営温水プールの在り方について	1 市営温水プールは、現在までに子ども等の水泳教室、トライアスロン等の競技者の練習拠点、怪我等のリハビリ及び中高年齢層の健康増進等の目的のために利用されてきた非常に重要な施設であるにも関わらず、令和5年度末での廃止が予定されている。本市と知多市により、温水プールを含む新たな健康増進施設の建設が進められているが、市営温水プールを廃止する課題等について、本市の考えを問う	(1) 市営温水プールの廃止について実施したパブリックコメントでは、現在の温水プールを廃止しないでほしいとの意見は何件あったか (2) 市営温水プールを廃止することで、どのような課題があると認識しているか (3) 泳ぐことを目的とした方にとって、屋内にある50mプールは知多半島唯一の貴重な施設であるため、市営温水プールの50mプールは残すべきと考えるがどうか	
2 福祉タクシー料金助成制度の充実について	1 福祉タクシーは、障がいのある方や要介護の高齢者にとって、なくてはならない移動手段の一つである。本市の福祉タクシー券は、年間24枚配付され、初乗り分に利用できるものであるが、さらなる制度の充実に向けて本市の考えを問う	(1) 対象者がより利用しやすく、外出促進を図ることができるように、配付枚数を増やす等、制度を充実させるべきと考えるがどうか	

<p>3 保育所等における待機児童の現状について</p>	<p>1 本市では、年度当初の待機児童数は0人であると公表しているものの、希望した保育所等に入所することができない児童が存在しており、実際は潜在的に待機児童が発生している。また、仮に保育所等への入所ができなかった場合は、家庭生活が大きく変化し、家族にとって大きな問題となる。そこで、保護者支援としての本市の考えを問う</p>	<p>(1) 保育所等への一斉申込みから入所決定通知を保護者が受け取るまでの流れはどのようなか (2) 本市において、保育所等の待機児童の定義や集計方法はどのようなか (3) 令和5年度入所の一斉申込みにおいて、申込みをした保護者のうち、希望した保育所等に入所することができなかった児童は何人いるか。また、その児童を対象として、入所調整後に定員に空きが生じた保育所等は何園あったか (4) 希望した保育所等に入所することができなかった児童の保護者に対して、面談等、市民に寄り添った対応をすべきと考えるがどうか</p>	
<p>4 学校給食について</p>	<p>1 学校給食は、成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のために、非常に重要であるが、自校方式の給食は、児童生徒の身近で調理が行われるため、喫食時間に合わせた調理が可能なことや食育等、きめ細やかな対応が可能となる。本市の給食センターは、施設の老朽化により今後の対応が検討されていると聞いているが、自校方式による給食の実施について、本市の考えを問う</p>	<p>(1) 平洲小学校施設整備基本計画を策定にするにあたり、給食センター方式ではなく自校方式を検討すべきと考えるがどうか</p>	

	<p>2 学校給食費の無償化は、子育て支援として、より多くの家庭が恩恵を受ける施策である。本市でも、食材費の高騰が続いている状況下で、公費負担により各家庭の負担軽減の取組がされているが、誰もが等しく健康に育つためにも学校給食費の無償化は早急に取り組むべき課題である。全国的にも学校給食費の無償化に取り組んでいる自治体が増加している中、本市の考えを問う</p>	<p>(1) 国による学校給食法の解釈では、「児童生徒の給食費について、自治体等がその判断によって全額補助することを否定するものではない。」とされていることを把握しているか (2) 全国的にも、無償化に取り組んでいる自治体が増加している中、本市が無償化を実施しない理由はどのようなか</p>	
--	---	--	--

質 問 者	10 坂 ゆかり 議 員 (日本共産党議員団)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 小中学校体育館のエアコン導入について	1 中学校の体育館のエアコン導入が令和4年度から始まり、令和6年度で市内の全中学校で終了する予定とされている。既に導入された中学校もあり、避難所開設時に使用することが導入の理由とされていることから、今後、小学校の体育館への導入について、本市の考えについて問う	(1) 令和4年度に名和中学校と横須賀中学校の体育館にエアコンが導入されたが、生徒の教育活動におけるエアコンの運用基準はどのようなか (2) 避難所となっている小学校の体育館にエアコンを設置する計画を早急に立てるべきではないか	
2 市営住宅について	1 市営住宅は、所得が低く、住宅に困窮している方のために整備された賃貸住宅であることから、東海市営住宅条例にある家賃の減免等の利用の周知を図る必要があると考える。また、6月から入居が始まったシティ高横須賀は募集戸数に対し、応募が多数あり、市営住宅への需要が高いことが明らかになったと考えるが、今後の建替え方針について問う	(1) 下大脇住宅の建替えに続いて、小池住宅、明倫住宅を建替える方針だが、建替え時には戸数を増やす必要があるのではないかと (2) 東海市営住宅条例第17条で家賃の減免または徴収猶予を定めているが、減免制度等の適用実績はどのようなか (3) 新規入居者や既存入居者へ減免等の制度について知らせる考えはあるか	

<p>3 芸術劇場のバリアフリーについて</p>	<p>1 芸術劇場の大ホール及び多目的ホールには、難聴者や高齢者で聞こえづらい方が利用できる補聴器補助放送設備として磁気誘導ループが導入されているが、施設利用者への周知は十分にされていないと考える。誰でも同じように施設を利用できるための方策について問う</p>	<p>(1) 磁気誘導ループの利用実績はどのようなか (2) 主催者及び利用者への設備使用の周知を図ることが必要ではないか</p>	
<p>4 公園管理について</p>	<p>1 市内には大小様々な都市公園や児童遊園・ちびっこ広場があり、公園近くの保育園の園児の遊び場となっているところもある。安全に利用できるよう草刈り等の維持管理について問う</p>	<p>(1) 都市公園や児童遊園・ちびっこ広場の草刈りは、どのような管理をしているのか。また、除草剤を使用することはあるのか</p>	
<p>5 地球温暖化対策について</p>	<p>1 6月1日から6月30日まで地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（素案）に関するパブリックコメントを募集しているが、広く市民が参加してゼロカーボンシティを実現する方策について問う</p>	<p>(1) 実行計画の中で、（仮）「環境基本計画推進委員会」を推進組織として位置付け、施策を推進していくとしているが、市民の声を反映させるために推進委員を公募する考えはあるか (2) 推進委員会は公開で行うつもりか。また、議事録の公開は考えているか</p>	

質 問 者	11 村 瀬 進 治 議 員 (青空・維新の会)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 高横須賀町城山地区の道路照明について	1 過去に痴漢行為が発生した夜間の通行が非常に危険な道路があり、道路照明設置を長年要望してきたが、現在も道路照明は設置されておらず、日々市民が危険に晒されていると考えるが、本市の考えについて問う	(1) これまで何度も要望している道路照明の設置について、様々な理由を挙げ、城山地区の南北道路には設置しないとのことだが、どのような条件のもとであれば設置するのか。また、地元警察からも再三の要請が行われていると考えるが、設置しない理由をどのように説明しているのか	
2 中ノ池投票所の新設について	1 民主主義の根幹である選挙の実施場所である投票所は、適正な基準に基づき、投票環境に不公平が生じないように選定されるべきであると考え、中ノ池地区は他地区に比べ、投票所までの距離等で不平等が生じていることについて、本市の考えを問う	(1) これまで何度も要望している中ノ池集会所の投票所指定について、様々な理由を挙げ、現在まで指定していない。中ノ池地区の住民にとって、投票所までの移動距離が長く、移動に大きな危険を伴う横須賀中学校を投票所とし続けている理由は何か。また、中ノ池地区の住民から自治会長に、中ノ池集会所を投票所とするよう市に働きかけるよう要望が出されていると聞いているが、把握しているか	
3 市長室の在り方について	1 市長室は、市の代表者である市長の執務室であり、市役所内で市民の出入りが少ない場所の一つである。市民に寄り添う市長であるために、市役所を訪れる市民に市長の顔が見えるよう工夫する考えについて問う	(1) 市役所を訪れる市民が市長を身近な存在として感じ、親近感が持てるよう1階ロビーに市長対話室を設置する等、工夫をする考えはあるか	

<p>4 らんらんバスのバス停の屋根と椅子について</p>	<p>1 らんらんバスのバス停には、未だに屋根及び椅子が設置されておらず、雨天時にベビーカー利用者や高齢者が困っている様子を見かけるが、バス停の環境改善を図る考えについて問う</p>	<p>(1) らんらんバス利用者の利便性確保のため、ダイヤの見直しのみではなく、バス停の環境改善を図るため、利用者の多いバス停から順に屋根と椅子の設置を進める必要があると考えるが、市の考えはどのようなか</p>	
<p>5 本庁舎勤務の職員の駐車場有料化について</p>	<p>1 市職員の駐車場は、本庁舎以外の勤務場所における一部の職員を除き、無料で利用しているが、有料化している自治体もあることから、本市においても有料化を検討する考えについて問う</p>	<p>(1) 勤務場所によっては、自費で民間駐車場を借りる必要があり、費用を負担している職員がいる反面、本庁舎に勤務する職員の駐車場は無料となっていることから不平等であるという声はないか。また、不平等感の解消のため本庁舎勤務の職員の駐車場について、有料化を検討する考えはどのようなか</p>	
<p>6 部長職の役割について</p>	<p>1 部長は、部内の職員を管理監督している立場であるが、各課担当職員との意思疎通の希薄化が見られる。職場内の意思疎通の在り方について、本市の考えを問う</p>	<p>(1) 市民の声を最も近くで聴くのは、各課担当職員であるが、市民から届けられた声はどのように組織内で共有されているのか。また、各課の業務執行の判断を行う課長に対し、部長はどのような方法で業務管理を行っているのか</p>	
<p>7 アメダス観測所の再設置について</p>	<p>1 平成24年10月まで大池公園に設置されていたアメダス観測所が大府市に移設され、10年が経過したが、気象環境を正確に知る意味でも必要なものであるため、再度本市に設置を要請する考えについて問う</p>	<p>(1) 気象環境を正確に知ることは、夏期の熱中症に対する警戒を促す情報提供を適切に行うことができる等、市民生活にとっても有益であり、アメダス観測所は本市にとって必要なものであるため、再度設置を要請する考えはどのようなか</p>	

8 若者の活動する場の確保について	1 太田川駅周辺では日頃から若者がダンスをする等の活動を行っているが、十分な活動場所が確保されているとは言えず、場所が空くの待つ姿を見かける。これからの時代を担う若者に活動の場を確保することは、市の活性化にも繋がるものと考えるが、本市の考えを問う	(1) 太田川駅周辺の広場や芸術劇場内に若者がいつでも自由にブレイクダンスができる場所を確保し、提供する考えはどのようなか。また、鏡が設置されていれば、ブレイクダンスの練習にも大変役立つと考えるが、芸術劇場1階ロビー付近でそのような場所を確保する考えはどのようなか	
9 降下ばいじんについて	1 横須賀地区の降下ばいじんは本市でも際立って多い状況にあるが、状況の改善に向けた市の取組状況等について問う	(1) 横須賀地区をはじめ降下ばいじん量が多い地区における市長及び副市長による現地調査の状況はどのようなか (2) 市は降下ばいじんの主たる原因者をどのように捉えているのか。また、主たる原因者と連携し、降下ばいじん被害を受ける住民に真摯に対応する考えはどのようなか	
10 新駅の名称発表について	1 令和4年12月に新駅の名称が発表されたが、市民の意見を聞かず決定した経緯から、唐突な発表に驚いた市民も多くいたと思われる。新駅の駅名決定に至る経緯について、市の考えを問う	(1) 駅名については、名古屋鉄道株が決定することであるとの説明を受けているが、市の関与の有無を改めて問う。また、関与していた場合、市の対応状況はどのようなか	
11 職員の配置について	1 一般的に組織の人員配置には適材適所の視点が必要不可欠であり、それは市職員の配置についても同様である。そこで、本市職員の人員配置の考え等について問う	(1) 職員の配置を考える際、どのような点を重視しているか。また、人員配置の決定はどのように行われているのか (2) 市民の意見を生かす能力の高い、やる気のある職員を積極的に登用すべきであると考えるがどうか	

<p>12 市営温水プールについて</p>	<p>1 約40年にわたり市民に親しまれてきた温水プールの廃止が検討されているものの、立地の面からも市民にとって利用しやすく、可能な限り、改修した上で存続すべきであると考えているが、本市の考えを問う</p>	<p>(1) 今回行われた市営温水プールの廃止に関するパブリックコメントの実施結果はどのようなか。また、年間10万人ほどの利用者がある温水プールを存続すべきと考えるがどのようなか</p>	
-----------------------	---	---	--